

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書 【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称                                  マープルホームズ地域型優良住宅プロジェクト

---

グループの名称    マープルホームズの地域型優良住宅を考える会

---

直近採択グループ番号    ---

(グループ代表者)

代表者名                                  初田 徹夫                                  代表者印

---

代表者所属先                                  株式会社サンタ通商

---

代表者所在地                                  東京都渋谷区東3-14-15 MOビル4F

---

代表者電話番号                                  03-5464-1360

---

(グループ事務局)

事務局事業者名                                  株式会社サンタ通商

---

事務局担当者名                                  井上 誠                                  印

---

事務局郵便番号                                  150-0011

---

事務局所在地                                  東京都渋谷区東3-14-15 MOビル4F

---

事務局電話番号                                  03-5468-3368

---

事務局FAX    03-5468-3369

---

事務局担当者E-mail                                  inoue@maplehomes.co.jp

---



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		10	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	9	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		9	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		15	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	13	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		9	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		14	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	7	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	27棟	/			
			3200㎡				
		申請が未確定	38棟				
			4800㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択を受けた後、各施工事業者より各案件の情報を随時事務局へ集約し、当事業の補助金交付のための条件をクリアする案件を選定し、グループ内採択の旨を各事業者へ連絡する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) メーブルホームズ地域型優良住宅プロジェクト	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) メーブルホームズの地域型優良住宅を考える会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	各地域において、快適に住み続けられる住宅を実現するために、長期優良住宅の認定基準に適合する住宅を提供する。室内のヒートショック防止なども考慮した、気密・断熱性に優れた家を提案する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	温暖化が進んでいる現状なども考慮し、気密・断熱性などに特に考慮した上で、各地域の寒暖差対策を徹底した住宅を提供する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	海外の洗練されたデザインの住宅を、各地域の街並みに調和する形で提案する。	◎
④①～③の背景	日本の住宅市場において、良質な住宅ストックを増やし、建物を壊しては新築するスクラップ&ビルドからの脱却を促進するために、快適で長く住み続けられるような、デザイン・性能面で共に優れた住宅の提供を目指す。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	構造材は105・120角、もしくは2x4・2x6材を標準仕様とする。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 気密性・断熱性などの性能面について、標準仕様を協議・検討していく。	○
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局を中心に、建材・資材調達について情報共有を促し、地域毎の商品化について協議・検討していく。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局を中心に、建材・資材の流通経路を整理・共有して、スムーズな物流の実現を目指す。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に、構成員間の情報共有を促し、生産の効率化を図っていく。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に、構成員間で施工基準について協議し、これを随時反映させていくことで、信頼性向上を図る。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に、構成員内の有資格者(建築士資格)の確認・検査を徹底することで、信頼性向上を図る。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お施主様が理解しやすい明瞭な見積もりの作成を義務付けるようにすることで、信頼性向上を図る。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者のHP改訂などを通して、認知度と信頼性の向上を図る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) メープルホームズ地域型優良住宅プロジェクト	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) メープルホームズの地域型優良住宅を考える会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a 第三者機関を活用し、住宅履歴情報の把握・管理を推進していく。		
① 住宅履歴情報の蓄積		○
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を活用し、安定した維持管理体制を構築する上での共通ルールについて協議していく。	○
①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス期間の活用について、事務局を中心に構成員間で協議・検討していく。	○
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、第三者機関と連携をとりつつ、履歴情報の確認と管理を行っていく。	○
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を活用し、安定した住宅の維持管理体制を構築する。	○
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を活用し、安定した住宅の維持管理体制を構築する。	○
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検・補修について、各構成員から事務局への報告を義務付け、確認体制を整える。	◎
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に、施工業者と適宜実施していく。	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産や廃業などによって住宅の維持・管理が困難となった場合、事務局が窓口となる。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、構成員間の瑕疵事例の共有を促進する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、研修会の企画を協議・検討していく。	○
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、品質管理についてのルールを協議・検討していく。	○
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、品質管理についてのルールを協議・検討していく。	○
③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局への受注棟数の報告を義務付けて、その情報を基に需給計画を策定する。	◎
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、構成員間の定期的なコミュニケーションを促し、技術力向上のための施策について協議・検討していく。	◎
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員間の情報共有によって、無駄を省く取組を適宜実施していく。	○
b		
①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 7	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 3	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、講習会の受講を推進していく。	○
c		
① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の情報共有を促し、新技術の導入について協議・検討していく。	○
② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の情報共有を促し、新技術の開発について協議・検討していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) メープルホームズ地域型優良住宅プロジェクト	(地域型住宅供給対象地域) 全国	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) メープルホームズの地域型優良住宅を考える会	(結成年) 2017年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>合法木材証明制度に基づいて、合法性が担保されている材料のみを「地域材」として認める。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上    <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>主要構造材    土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  造作材    枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している                  板材    壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎、○ 記入欄	
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない    <input type="checkbox"/> ある → 内容:</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって施工業者との情報共有を促進する。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が中心となって施工業者の住宅供給棟数を管理し、需給予測を立てる。</p>		◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>		
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各地域の気候などに適した住宅を提案する。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の規制・ガイドラインに沿った住宅を建てる。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>		◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組			
平成28年熊本地震の復興に資する取組			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) メープルホームズ地域型優良住宅プロジェクト	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) メープルホームズの地域型優良住宅を考える会	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

長期優良住宅の認定基準に則った上で、合法性の担保された木材の活用を促すと同時に、デザイン性にも優れた住宅を提供することで、長く住み継がれていく住宅をの普及を目指していく。  
また、性能面での充実を図るために、Low-Eペアガラスサッシの採用と、BELS4以上の性能値を達成を標準仕様として推奨していく。